

夏秋トマト(ミニトマト)生育促進用 液肥の使用法について

2021 アグリ技研(株)

生育ステージ				
肥料名	目的	定植後～収穫始め	中盤期	後半期
アミクエ	樹勢・根維持	5～7日置に 5～10k	10日置に 5～10k	
ウルル10号	樹勢維持	5～7日置に 10k		
新カル元気	カルシウム補給	7～10日置に2～3k		7～10日置に2～3k
ウルル18号	肥大促進	5～7日置に 5～10k		
コラーゲン・ラボ	樹勢維持	500倍の葉面散布		

◎10a当たりの基準施肥量で設計しています。

対策

- 1.生長点の先端が細くなっている場合は、生育不足だと思われるので
 - ①液肥を1日当たりN成分で500～600g(やや多く)灌水処理
 - ②コラーゲン・ラボ500倍の葉面散布を2日置きに生長点(先端部)に行う。
- 2.根域を広げる様に
 - ①アミクエを5～10kの灌水処理
- 3.肥大促進液肥
 - ①ウルル18号(新発売)カリ10%を5～10kの灌水処理
 - ②カリっとは、1～2kの灌水処理